

# 葦

第8号  
発行

大阪市東住吉区山坂5丁目  
11番21号 TEL 06-699-8731  
FAX 06-699-8734

社会福祉法人  
愛徳福祉会

皆様の投稿を  
お待ちしております

## 新年を迎えて

理事長 梶浦 一郎

本年一月四日午前九時より大訓練室に職員一同を集め、梶浦理事長より新年にあたっての訓話が行われた(要旨は次の通り)

みなさん、あけましておめでとうございます。新年にあたりまして少しご挨拶をしたいと思います。昨年は、みなさんご存知のようにいろいろなことがございました。政治不信が表にあらわれて、そして拡大された年だったと思います。本日に馬鹿げた話ですが、佐川急便事件から金丸副総理の辞任、それから足の引っぱり合い、与野

党の引き延しの国会があったり、また、尼崎の市会議員が総出で不正出張をするなど政治不信が行き着くところまで行き着いたと思われま

世紀末から新しい時代へ変えることの大きな、そして不気味な転換の時期の現象として片付けられるかどうか判りませんが、このバブルの崩壊で世のなか全部が不況の時

代になり、我々消費者にもじわじわと影響が出てきていると思えます。非常に混沌とした、しかも暗い年だったと思えます。

年頭のあいさつをする梶浦理事長

それに対して、今年はずいぶん少なくなってほしいと思えますが、まだ出口が見えないよ

うに感じます。多くの識者がテレビで新しい時代へ変わるということばを言っていますが、どのように変わるかという具体的なことは言えないでいるというような大変な時代だろうと思えます。

さて、我々を取り巻く医療行政については既に幾度か申し上げておりますが、もう一度おさらいいたしますと、昭和二十三年に医療法ができ、この時は戦後の混乱期であり、医療の量的拡大が主な目的であったわけですが昭和二十三年には全国で僅か二十七万床しかありませんでした。それが平成三年には一六八万床になり、量的には達成されましたが逆にある意味では過剰になってまいりました。

しかし、どこでも、誰でも同じレベルの必要な医療が受けられるという制度ができたということでもあります。これは世界中を見ましても非常に優れたことではありますが、しかしこれが多くの問題を引き起こしてきたのであります。

当時は高度成長時代であり、病院の建設ラッシュが続き、毎年、実に三万七千床も増加していきま

した。それと同時に医師、看護婦の慢性的な不足が始まったのであります。昭和四十八年には、福祉元年として老人医療の無料化が始まりました。それに伴う国民医療費の増大、特に国保の財政難が目立ち始めました。昭和四十八年に第一次オイルショック、それから昭和五十七年に第二次オイルショックがあり、それを契機に診療報酬の抑制が本格化してきました。それまでは、大体、隔年か、三年に一度は少ない年で五%、多い年は実に一七・五%の医療費の上昇が行われてきたのであります。

### 高度な技術と真の優しさを

その間、昭和六十年に第一次の医療法の改正、これは病床規制、医療監査の強化ということで我々には余り関係がなかったわけですが、平成四年には、第二次医療法改正が行われ、それまでの量的な拡大から質の時代へと変ってきたということでもあります。

その詳細は省きますが、それはいわゆる診療報酬に端的に表われてきております。

つまり、以前は薬、注射というような物に重点的に配分されていたのが今回の改正では、人、技術つまり看護、手術、PT、OT等に多くの点数配分がなされました。

もう一つ大事なことは、同じものでも質の高いところには、より高い点数配分をするようになりまし

た。例えば、同じ看護でも一類、特二類、特三類では全く違うし、あるいは、PT、OTでもランクがあり施設基準等をクリアしますと非常に高い点数配分がなされるといふような時代になってきております。これが先程申し上げた第二次の医療法改正を具体的に表わしたことだろうと思えます。それ以外に診療科目の設定、大学病院の性格付けなどがありますが、我々に直接関係があるものとしては、要するに量に対するより質が大事であるといふふうに変ってきたということでもあります。

このことは、私たちの園が長い間苦しい中でこの質を保ち続けてきたことがやっと報われたという感じがいたします。これを実際の例で申しますと、ある医療法人が二つの病院を経営している。一つは一般の病院であり、もう一つはリハの病院である、平成四年度は平成三年度と比べますと、一般病院では収入は〇・三%上昇しておりますが経常利益は、実にマイナ

ス六十%になっております。しかしリハ病院では収入が七・三%の上昇になっております。

このように質の高い、しかも特色のある医療機関というのは今後十分に伸びていく可能性があるということでもあります。

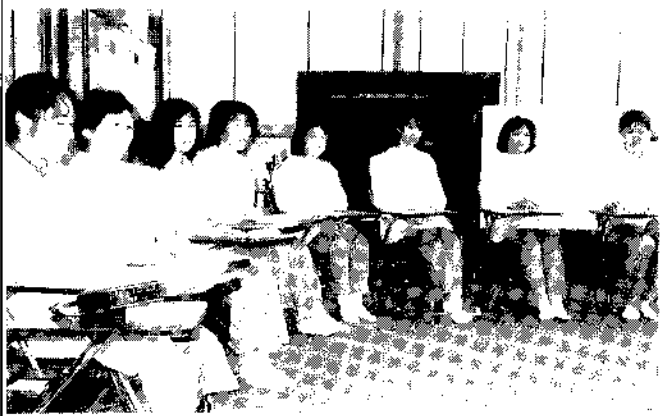
従いまして、私たちの園の方針、つまりどこにも負けない最高の療育をというこれまでの方針が報われ始めたわけであり、今こそ私たちの園を健全な運営に建て直すチャンスでもあります。

んが来られてそれにより報酬が上っていくということでもあります。障害児、者の親あるいは家族の方がこの園を選んでくれなければ折角のチャンスも生かせないわけであります。毎年申していますように、園が選ぶのではなく障害児が世の中の療育の場を選ぶことができる時代になっております。

二十余年前に、ボバース法を選んでよかったと今になってつくづく思うわけであります。世の中にはいろいろな方法があることはご存知のことと思いますが、他の方法と比較してみても、その有効性が明確になり自信を持って言えるようになりました。

ここに一つのデータがあります。ボバース病院の小児病棟四十六床に平成三年四月から平成四年十二月の間に入院した脳性麻痺の子どもが一六〇人おります。その一六〇人を出身地別にみますと大阪府は僅か三分の一の五十四名に過ぎません。目立つのは兵庫県の四十五名、京都府の十一名、愛知県の十四名であります。兵庫県の四十五名というのはこの園におられた山川夫妻がおり、姫路で手術が必要な子どもを全部こちらが引き受けているという事情があるんです。それが別にこちらの方から申し入れていることではないんです。一人の子どもさんが来られてその後が続いて来られるということですが、これは何を意味するか、これ以上申しませんがご賢察頂きたいと思えます。ボバース法というのはみなさんご存知のように非常に難しく、その正統性を守り抜くのは困難であります。

従って、私たちがこのボバース法をますます発展、充実させていかなければならないと思えます。知らず知らずの間にマニュアル化



平成四年度の新人職員研修会が別掲のプログラムで開かれ十九名が参加しました。

提出されたレポートの一部を紹介します。

▼療育理念には、週末外泊制度、

## 新人職員研修会

—十九名が参加—

した画一された安易な方向に走り勝ちであります。正しいボバースコンセプトに自信を持って、より一層発展させていくため努力が必要であります。

看護についても、リハ看護が専門的なものとして今認知をという動きがあります。ただ、内容はまだまだはつきり致しておりませんが、しかし我々としてもかなりの影響が必要になってくると思います。

このように、この園が障害児親子の本当の安らぎの場になるように努めること、そしてボバースのコンセプトを正しく守り抜き、強化させていくこと、その両面に

ボバース法による訓練、通園における母親教室、園内学級による教育、そして医学的治療を総合して療育にあたっていることが理解でき勉強になりました。

▼社会人として、一職員として責任の重さや心得などを思い知らされました。一般企業に比べ一個人の行動を試みられる福祉の施設でどれだけ私がやっていると正直に不安と重みを持っています。

▼研修内容では特にマナー面や心構えについて考え直す必要を感じました。「親しき仲にも」という言葉がありますので、やはりマナーを守り職場の雰囲気を乱さないよう頑張りたいと思います。

▼以前に研修会に参加したことがありますが内容は思い出さずができません。今回この園へ就職し新しい環境に入るにふさわしく研修に参加でき緊張感を与えて下さ

よって園の発展が期待できるのではないかと思います。

この園の門を潜った途端に親子がホットするようなそういう園にしたい、受付から病室、訓練室など本当に考えてよかったです。頂けるようなものにしていきたい、我々としては、それを使命にしていきたいと考えております。つまり高度な技術と真の優しさが大切であります。

正月早々固苦しい話に終始しましたが何卒今年もよろしくお願いたします。どうもありがとうございました。

平成4年度 社会福祉法人・愛徳福祉会 新人職員研修プログラム

	4月1日(水)	4月2日(木)	4月3日(金)
9:00	社会福祉法人愛徳福祉会 人職式 ☆辞令交付挨拶 ☆理事長挨拶 ☆園長職員自己紹介 ☆管理職紹介	障害児(者)問題を考える 社会福祉法人・愛徳福祉会 常務理事 澤 賢 次	南大阪療育園のシステムについて 南大阪療育園 今 川 謙 二 " 早 瀬 水 子 " 通園部 野 MS 村 " 診療部 中
10:00	就業規則の説明 諸手続きについて 南大阪療育園 総務課長 谷 田 章	新入職員の心得について 大阪府社会福祉協議会 大阪社会福祉施設経営 相談室 大久保 オ一氏	措置費体系と医療費の仕組みについて 南大阪療育園 事務部長 丸 山 浩 一
11:00	社会福祉法人・愛徳福祉会 の療育理念 社会福祉法人・愛徳福祉会 理事長 梶 浦 一 郎	障害児と親子関係について あさしお園・ゆうなぎ園 園 長 西 條 正 晴	12:00~13:00 研修レポート作成 13:00~14:00 昼 食 ・ 休 憩 《所属部署での業務》
12:00	社会福祉法人・愛徳福祉会 理事長 梶 浦 一 郎	職業人としての自覚 社会福祉法人・愛徳福祉会 理事長 米 沢 実 美	社会人としての基本的な ありかたと心構えについて 南大阪療育園 園長 治 下 舜
13:00	社会福祉法人・愛徳福祉会 理事長 梶 浦 一 郎	社会人としての基本的な ありかたと心構えについて 南大阪療育園 園長 治 下 舜	16:00 肢体不自由児に対する医療 南大阪療育園 園長 治 下 舜
14:00	社会福祉法人・愛徳福祉会 理事長 梶 浦 一 郎	社会人としての基本的な ありかたと心構えについて 南大阪療育園 園長 治 下 舜	17:00

## 学会発表

### △診療部▽

- ▼平成4年5月28日  
第29回日本リハビリテーション学会(神戸市)  
「脳性麻痺の股関節脱臼に対する手術時期」 矢田 定明
- ▼平成4年12月5日  
第3回日本小児整形外科学会(福岡市)  
「脳性麻痺の足部変形」 矢田 定明
- ▼平成4年11月14日~11月15日  
第9回日本障害者歯科学会(東京都)  
「脳性麻痺児の摂食機能と排便障害」 堀 雅彦
- ▼平成4年11月14日  
「肢体不自由児施設における菌みかき介助について」 井口 百花
- ▼平成4年3月8日  
「電動ハブラシの使用効果」 山田 貴世美

### △訓練部▽

- ▼平成4年2月1日  
第1回近畿肢体不自由児通園施設連絡協議会療育研究会(京都市)  
「脳性麻痺児の股関節脱臼予防に関する一考察」 矢野 洋子
- ▼平成4年2月16日  
第3回大阪府理学療法士学会(大阪市)  
「神経発達学的治療アプローチの効果：片麻痺児の立位姿勢について」 海 瀬 一 典
- ▼平成4年3月8日  
日本理学療法士協会障害児福祉部研修会(宇都市)  
「シンポジウム」伝えておきたい失敗談」 彦 田 龍 兵
- ▼平成4年6月18日~6月19日  
第26回日本作業療法学会(大阪市)  
「脳性麻痺幼児の遊びに対する作業療法」 松 尾 彰
- ▼平成4年9月20日  
第8回大阪府作業療法学会(堺市)  
「脳性麻痺児に対するグループOTの試み：入園生活を主体的に送るために」 岸 良 至
- ▼平成4年10月8日  
「橈骨裂欠損幼児の作業療法の報告」 松 本 茂 樹
- ▼平成4年10月8日  
第37回全国肢体不自由児施設療育研究会(札幌市)  
「アテトーゼ型脳性麻痺児の呼吸機能の評価：パルスオキシメーターを用いての症例報告」 下 嶋 清 市

### △看護部▽

- ▼平成4年10月8日  
第37回全国肢体不自由児施設療育研究会(札幌市)  
「学童児の自由時間の過ごし方」 森 口 恭 子
- ▼平成4年7月23日  
全国盲ろう啞難聴幼児施設全国大会(熊本市)  
「5才児のグループ指導について」子ども、母親のコミュニケーションを中心として」 門 田 多 恵 子
- ▼平成4年4月9日  
同協会社会福祉研究奨励賞  
「聴覚障害児を取り巻く福祉的課題」 原 順 子
- ▼平成4年11月7日~11月8日  
第12回近畿作業療法学会(和歌山市)  
「失調症児の書き動作：痙性を伴う失調症児一症例を通して」 山 本 圭 三
- ▼平成4年11月7日  
「先天性多発性関節拘縮症児の手関節可動域訓練の実際」 岸 良 至
- ▼平成4年11月7日  
「痙直型四肢麻痺児の書き動作に対する作業療法」 黒 沢 淳 二



## 話題

▼平成4年7月23日  
全国盲ろう啞難聴幼児施設全国大会(熊本市)  
「5才児のグループ指導について」子ども、母親のコミュニケーションを中心として」 門 田 多 恵 子

▼平成4年4月9日  
同協会社会福祉研究奨励賞  
「聴覚障害児を取り巻く福祉的課題」 原 順 子

# トラック2台分の善意

## 大阪府家具工業組合青年部

## 本園にリハビリ器具

大型トラック二台分のビックなプレゼントが届いた。

この寄贈の趣旨を實踐に生かして大いに活用していきたいと思ひます。

△寄贈の器具・家具▽  
I P T 用—

大阪府家具工業組合青年部 (二十四社加盟) が持ち前の腕をふるって製作、平成四年四月二十五日当園大訓練室にて贈呈式が行われました。

贈呈式では、別掲の目録贈呈のあと、当法人沢常務理事からお礼の挨拶と感謝状が手渡されました。



届けられたリハビリ器具を前に行われた贈呈式

- ▽訓練用腰掛け台5点▽重ね台12点▽ベンチ9点▽ボックスベンチ9点▽背もたれ付椅子3点▽パランスベンチ6点▽プラットホーム2点▽ベトル椅子2点
- ▽治療用椅子16点▽重ね台18点▽病棟食事用台18点▽病棟おきがえベンチ9点▽特製椅子15点▽食事用椅子10点▽カウチ3点▽通園児用ボックスチェア10点▽移動作業台▽おもちゃ入れ1点▽カットアウトテーブル1点
- I S T 用—
- ▽支柱つき特製椅子3点▽ベビー用椅子2点▽カットアウトテーブル2点▽カットアウト重ね台5点▽ベンチ(取り外し式支柱つき)6点

計169点

### 園児に寄せられた温かい 支援を心から感謝いたします。

## 本園 △寄附金▽

南田辺民生委員会、青木久一、岸上総治、大阪東住吉ライオンズ

クラブ、日進交通(株)、南田辺小学校、小倉弘吉、南田辺小学校PTA、畑中善一、(株)モリタ、弘江淳朗、大原功、木村サト子。

本園、分園の、この一年間のボランティア活動は次の通りです。ありがとうございました。

## 本園

鶴ヶ丘駅構内二ヶ所のバギー置場の整理、整頓、清掃を月一回。

△南田辺地区民生(児童)委員協議会婦人部のみなさん▽

△北病棟、二階病棟のシート交換のお手伝いを毎週金曜日午前中。

△南田辺の川口芳子さん▽

△夏休み期間中(7/21~8/28)に学童以上の勉強、遊び相手。△大阪ボランティア協会サマーボランティア計画、清恵会リハビリテーション学院、大阪府立看護学院、大阪府立看護短大ほか三十二名、延一四一名▽

△年長者の学習、話し相手を手を毎週水曜日午前中。△菅田文子さん▽

△二階病棟クラブ活動のお手伝いを毎週金曜日夕方。△大阪総合福祉専門学校佐々木、地道の両君▽

△夏まつり(平成4年8月1日) △城南短大六名、梅花女子二名、仏教大学社会福祉学科一名、キリスト教短大二名、浪速短大二名、南海福祉専門学校二名、行岡医学技術専門学校一名、甲南女子大学一名、大阪教育福祉専門学校一名、大阪教育福祉センター二名、港区ボランティアサークル二名、その他四名計二十六名▽

△運動会(平成4年10月18日) △社会人三名、保母さん一名、大阪保育運動センター一名計五名▽

△もちつき大会(平成4年1月18日) △港区夕風、田中地区有志十一名▽

△両親教室△延一八〇名▽

△平成三年度発表会(平成4年2月2日) △浪速短大四名、大阪教育福祉専門学校一名▽

△ゲーム大会(平成4年5月31日)

## ボランティア

街振興組合、近畿花王販売(株)大阪菓業青年クラブ、西口秀男、加藤外紀世、川村義肢(株)、パイオニア労働組合、読売新聞大阪本社、大阪市民生高福祉部障害福祉課、竹田知弘、日本出版販売(株)、(株)アミカEPS、赤帽大阪府軽自動車運送協同組合員、黒門市市場商店街振興組合、大阪本場青果卸売協同組合、(株)エイテックス。

## △寄贈品▽

松嶋俊輔、殿井博、大阪昭和会、愛媛県青果農協同組合連合会、泉本功、古座谷千華、山口裕嗣、福山勉、中島達也、キリンビール(株)、大阪府家具工業組合青年部、愛善会老人クラブ、大阪府玩具具人形問屋協同組合連合会、(株)安田、(株)日本魚肉ソーセージ協会、総合商品の優雅、大栄町農業協同組合、後藤光枝、古谷義信、村田商会、(株)大阪ボランティア協会、原田満男、(株)平岡企画、大阪市小売市場連合会、佐伯達、東嶺会、正膳修、山本篤江、(株)読売光と愛の事業団、(株)日本乾電池工業会、大阪漬物味噌協会、ウメダ地下センター商店

△平成三年度発表会(平成4年2月2日) △浪速短大四名、大阪教育福祉専門学校一名▽

△ゲーム大会(平成4年5月31日)

△夏まつり(平成4年8月1日) △城南短大六名、梅花女子二名、仏教大学社会福祉学科一名、キリスト教短大二名、浪速短大二名、南海福祉専門学校二名、行岡医学技術専門学校一名、甲南女子大学一名、大阪教育福祉専門学校一名、大阪教育福祉センター二名、港区ボランティアサークル二名、その他四名計二十六名▽

△運動会(平成4年10月18日) △社会人三名、保母さん一名、大阪保育運動センター一名計五名▽

△もちつき大会(平成4年1月18日) △港区夕風、田中地区有志十一名▽

## あさしお園

東住吉区民生・児童委員

約50名▽国立身体障害者リハビリテーションセンター1名▽

福島整肢療養園1名▽東京都立多摩療養園2名▽堺看護専門学校20名▽佐賀整肢学園ひまわり園3名▽南紀福祉センター1名▽国立大阪病院附属看護助産学校30名▽大阪府肢体不自由者協会50名▽

▽大阪府立病院1名▽藍田1名▽

△浪速短大二名、同志社大一名▽

△合宿(平成4年8月29日~30日) △浪速短大六名、同志社大一名、日本福祉大一名▽

△運動会(平成4年10月17日) △ボランティアサークル二名▽

△平成四年度発表会(平成4年11月29日) △大阪教育大学三名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

△クリスマス会(平成4年12月22日) △外国人一名▽

## 施設見学のみなさん

4・1・12

野療養園1名▽大阪市中央児童相談所12名▽国立療養所近畿中央病院附属リハビリテーション学院2名▽大阪市小学校教育研究会生野支部20名▽川崎リハビリテーション学院1名▽行岡医学技術専門学校リハビリテーション科1名▽大阪教育大学特別専攻科1名▽大阪府立厚生女学院36名▽聖母託児園1名▽京都教育大学教育学部発達障害学専攻科24名▽国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院1名▽京都教育大学特別専攻科24名▽龍谷大学短期大学部社会福祉科1名▽旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

△旭川療育園歯科衛生士2名

## △寄贈品▽

キリンビール(株)、(株)日本魚肉ソーセージ協会、大阪菓業青年クラブ、梅田地下センター商店街振興組合、大阪本場青果卸売協同組合、ボランティア努力銀行(水島、赤尾、浅井、原田)、愛善会老人クラブ、明治製菓、安田(株)、平岡企画、樋口雅也、鳥取県大栄町農業協同組合、近畿花生講(株)、よい本いっぱい運動推進連盟、読売新聞光と愛の事業団、村田商会、島幸子他、大阪市小売市場連合会、宮崎平凡

△平成四年一月~十二月迄

△平成四年一月~十二月迄

△平成四年一月~十二月迄

△平成四年一月~十二月迄

△平成四年一月~十二月迄

## あさしお園 ゆうなぎ園

△寄附金▽

大阪港ロータリークラブ、港区善意銀行、港区民生委員支部、港区遊技業組合、田中地区民生委員協議会、共同募金会。

△寄附金▽

△寄附金▽

## あさしお園 ゆうなぎ園

△寄附金▽

大阪港ロータリークラブ、港区善意銀行、港区民生委員支部、港区遊技業組合、田中地区民生委員協議会、共同募金会。

△寄附金▽

△寄附金▽

## ゆうなぎ園

守口福祉事務所2名▽高槻市教育委員会2名▽大阪コミュニケーションワーカー専門学校▽高槻市教育委員会1名▽日吉台幼稚園2名▽園田学園短大1名▽美木多幼稚園1名▽大阪府肢体不自由児(者)協会23名▽日本福祉大学1名▽大伴幼稚園1名▽大正区家庭児童相談所2名▽泉北難聴教室15名▽手話サークル15名▽高川保育所1名▽貫江田幼稚園2名▽大伴小学校3名▽家庭児童相談室市内南ブロック7名▽岸和田市教育委員会1名

△守口福祉事務所2名▽高槻市教育委員会2名▽大阪コミュニケーションワーカー専門学校▽高槻市教育委員会1名▽日吉台幼稚園2名▽園田学園短大1名▽美木多幼稚園1名▽大阪府肢体不自由児(者)協会23名▽日本福祉大学1名▽大伴幼稚園1名▽大正区家庭児童相談所2名▽泉北難聴教室15名▽手話サークル15名▽高川保育所1名▽貫江田幼稚園2名▽大伴小学校3名▽家庭児童相談室市内南ブロック7名▽岸和田市教育委員会1名

△守口福祉事務所2名▽高槻市教育委員会2名▽大阪コミュニケーションワーカー専門学校▽高槻市教育委員会1名▽日吉台幼稚園2名▽園田学園短大1名▽美木多幼稚園1名▽大阪府肢体不自由児(者)協会23名▽日本福祉大学1名▽大伴幼稚園1名▽大正区家庭児童相談所2名▽泉北難聴教室15名▽手話サークル15名▽高川保育所1名▽貫江田幼稚園2名▽大伴小学校3名▽家庭児童相談室市内南ブロック7名▽岸和田市教育委員会1名

△守口福祉事務所2名▽高槻市教育委員会2名▽大阪コミュニケーションワーカー専門学校▽高槻市教育委員会1名▽日吉台幼稚園2名▽園田学園短大1名▽美木多幼稚園1名▽大阪府肢体不自由児(者)協会23名▽日本福祉大学1名▽大伴幼稚園1名▽大正区家庭児童相談所2名▽泉北難聴教室15名▽手話サークル15名▽高川保育所1名▽貫江田幼稚園2名▽大伴小学校3名▽家庭児童相談室市内南ブロック7名▽岸和田市教育委員会1名

△守口福祉事務所2名▽高槻市教育委員会2名▽大阪コミュニケーションワーカー専門学校▽高槻市教育委員会1名▽日吉台幼稚園2名▽園田学園短大1名▽美木多幼稚園1名▽大阪府肢体不自由児(者)協会23名▽日本福祉大学1名▽大伴幼稚園1名▽大正区家庭児童相談所2名▽泉北難聴教室15名▽手話サークル15名▽高川保育所1名▽貫江田幼稚園2名▽大伴小学校3名▽家庭児童相談室市内南ブロック7名▽岸和田市教育委員会1名

△守口福祉事務所2名▽高槻市教育委員会2名▽大阪コミュニケーションワーカー専門学校▽高槻市教育委員会1名▽日吉台幼稚園2名▽園田学園短大1名▽美木多幼稚園1名▽大阪府肢体不自由児(者)協会23名▽日本福祉大学1名▽大伴幼稚園1名▽大正区家庭児童相談所2名▽泉北難聴教室15名▽手話サークル15名▽高川保育所1名▽貫江田幼稚園2名▽大伴小学校3名▽家庭児童相談室市内南ブロック7名▽岸和田市教育委員会1名

# 園内研修会

八月・十二月に開催

平成 4 年度の園内研修会は、本園大訓練室に於て次の通り開催された。

## 第十九回

平成 4 年 8 月 8 日午前 9 時～12 時 30 分

### △演題▽

▼南大阪療育園における脳性麻痺の在宅療育

—— 南大阪療育園で行なっている脳性麻痺の手術 ——

園長 大下舜治

▼脳性麻痺の四肢及び尖足変形に対する手術

(1) 四肢の変形に対する手術  
前腕の回内変形

手関節の掌屈・尺側偏位

手指の屈曲変形

握り母指

(2) 尖足変形に対する手術

診療部長

美延幸保

▼脳性麻痺の下肢変形に対する手術

(1) 姿勢に対する手術

① 股関節周囲筋離断術

② 大腿骨頸上部減捻骨切り術

(2) 股関節亜脱臼・脱臼に対する手術

① 股関節の自然経過

② 股関節周囲筋離断術

③ 大腿骨転子間減捻・内反骨切り術

## ④白蓋形成術

(3) 膝関節変形に対する手術

診療部 矢田定明

## 第二十回

平成 4 年 12 月 26 日午前 9 時～12 時 30 分

▼当園の防火対策について

防火管理者 丸山浩一

▼講演「人間とは、生きるとは」

元大阪市立阿武山学園副園長、

花園大学、大谷女子大学非常勤

講師 辻光文先生

(講演内容は要約して 6 頁に掲載しています。)

※当日は講演についてのレポートをいただきました。

今後の参考にさせていただきます。ありがとうございます。

## 勤続十年表彰

平成四年五月一日付で勤続十年表彰の受賞者は九名です。表彰状と副賞が授与されました。今回より副賞は①商品券十万円、②商品券五万円と特別休暇十日の内から選択出来るようになりました。

### 《受賞者》

▼大下舜治、中村ヨシ子(診療部)

▼橋本田鶴子(北病棟)

▼坂野幸江、福島祐子(訓練部)

▼大塚綾子(給食)

▼皆川かほり(あさしお園)

▼大垣奈々恵、原順子(ゆうなぎ園)

# 平成4年度「全国肢体不自由児施設長・事務長会議」 ——当園担当で開催——

本会議は毎年五月に、全国の肢体不自由児施設の施設長と事務長が施設の運営や諸問題を討議、福祉の向上を図る目的で行われている。

本年度は当園が担当することになり五月七、八日の二日間、天王寺区の「なにわ会館」で開催、全国から七十二施設と各都道府県の事務担当者ら約二〇〇人が参加した。

第一日目午前中は、全肢協の関連会議として、民営施設の集い、事務長の集いが開かれた。そのなかで今回は、特に「週休二日制」をテーマに大久保才一氏(大阪府

社会福祉協議会経営相談室長)の講演があり、各施設ともいかにこの週休二日制に対応していくべきか苦慮しているとき、まことに時機を得た講演であった。そのあと全肢協の総会に入り平成三年度の事業報告、収支決算、平成四年度の事業計画、収支予算が満場一致で可決された。また、七戸幸夫副会長の退職に伴い、あすなる学園の川口宏二氏が満場一致で副会長に選任された。

午後から本会議に入り、主催者として全肢協坂口会長、厚生省田中障害福祉課長、大阪市香山民生局長、日本肢体不自由児協会竹内理事長よりそれぞれ立場からの挨拶がなされた。続いて田中課長の行政説明に入り、国連障害者年十年を中心とした年金の抜本的改正、地域での生活を支援するグループホーム制度の創設、重症心身障害児の通園モデル事業等障害福祉課が担当した分野での説明があり、そのほか四月改正の

診療報酬の成果、看護婦を中心とするマンパワーの問題などあらゆる角度からの提言がなされた。そのあと全体会議に移り、本年度の会議主題である「在宅療育をめぐって」と「施設経営の今日的課題」の討議に入った。

第一日目「在宅療育をめぐって」の主題で、のじぎく療育センター金原院長と東大寺整肢園横林園長が議長となり進行した。

指定発言Ⅰ 宮城県拓桃医療療育センター 院長 手塚主夫

宮城県内で施設に収容されてない肢体不自由児はどのような療育の場をもっているかについて拓桃療育センターが直接関わる療育と在宅療育との接点について説明があった。在宅療育に多方面の分野から取り組まれ行政の実施する療育相談にも積極的に参加していることがうかがえた。更に収容施設のある肢体不自由児施設が在宅療育を実践するにはそれを支える裏付けとして人材の育成と確保等、課題が多く存在することを指摘された。

指定発言Ⅱ 南大阪療育園 園長 大下舜治

外来、通園、入園の具体的な展開について提出資料に基づき逐一説明がなされ、大阪での在宅療育が盛んになった地域の特性や在宅



療育の観点から訓練士を多くしているが効率の面に問題があることを指摘、通園を開設してから現在までの感想を述べ、更に開園当時から入園期間を短くし、なおかつ医療の必要な子どもたちを中心に入園させる方針で実践してきたが、そのなかの矛盾や悩みを披歴、しかし今後この方針を継続していくことを強調された。

第二日目は、「施設運営の今日的課題」の主題で当園大下園長と第一青い鳥学園市岡事務長の議長で進行した。

指定発言Ⅲ 群馬整肢療護園 事務長 木村隆彦

群馬県には平成元年度から全国で始めての県単の重心児加算制度がありこれが実施にあたっては、県内の重心施設が満床で在宅児が入園できないこと、あるいは県の経営面、肢体不自由児施設の受入態勢があったことなどを含め、重心病棟を運営している現状について報告、新しいスタイルのこの重心児加算が三年経過したが重心施設と比べて人員増などで経営面か

ら困難であると結論づけ、今後重心施設を設置していく考えを発表された。当面の課題として、マンパワー対策、重心療育の理念、施設整備資金、労働時間の短縮などが述べられ厳しい経営環境のなか園長以下努力していくと締めくくった。

指定発言Ⅳ 南紀福祉センター 管理部長 宮本義雄

地域の要因の変化で入所児の減少と職員の加齢化、特に職員の年齢構成は五十才代が十八名で平均年齢が四十三才と高く、人件費が高騰している現状を報告、また重症心身障害児施設が現実に必要なのにその法的根拠が乏しいこと、診療を常時必要としない者については医療法に抵触しない施設形態が必要ではないかと述べられ、赤字経営の現状から新しい発想が出され、多くの施設を経営している立場からの報告がなされた。

肢体不自由児施設の経営は正念場であり今後の改善として、入所児の増加、外来収入の増、母子入園などの新しい試み、そして人件費を中心とした歳出面の合理化を述べられた。

指定発言Ⅴ ゆうかり学園 事務長 日野康英

経営という感覚が必要で企業の発想を組み入れて施設運営に対応していくべきであると提言。今日の課題として安定経営のための収入の確保、医療費と措置費のバランス、入所児の減少傾向への対応、労働時間の短縮、週休二日制の導入、職員の教育、施設組織の強化などを述べ、特に組織の強化については、ラグビー生活三十年の体験を踏まえての報告がなされた。

の要望等があり会場全体が熱気に包まれていた。これからの肢体不自由児施設は、在宅の障害児、若者重症心身障害児、者の療育に目を向けていくべきであり、これを支えるマンパワーと経営的基盤をいかに確保していくかを解決にむけて模索していくことではないだろうか。

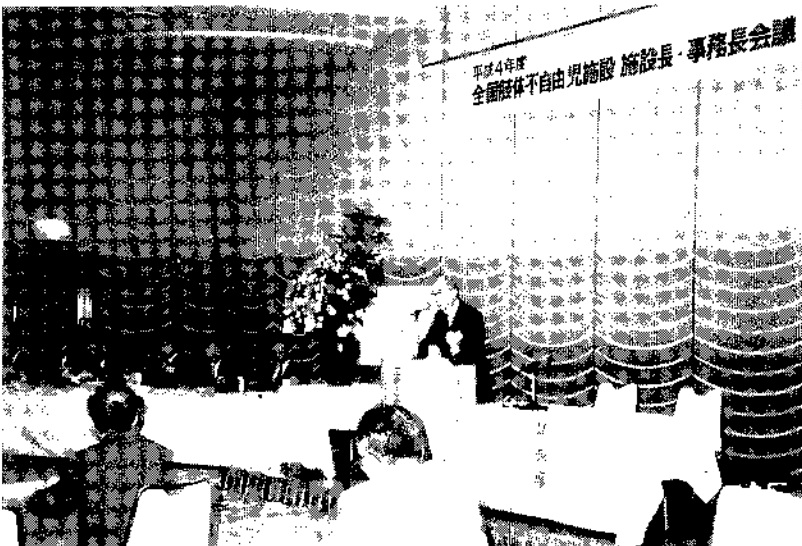
厚生省田中課長より終りに当り、本会議全体の印象を次のように述べられた。

同じ肢体不自由児施設であつても、地域の事情、経営者の方針でいろいろ運営方法があるということが分った。このような会議では抽象的、理念的な議論は好ましくなく、現実には障害児、者は地域におられるし、専門家の援助を求めている。ニーズの流れをつかんで経営を成り立たせる資源を得ながら施設が蓄積したマンパワー、技術をどう展開していくかを考え財政的裏付けを得てほしい。

発達期の子どもの発達保障の内容と成人期、中高年期に要求されるプログラムが同一でいいのにかについても専門的立場から議論してほしい。拠点施設事業は、従来のオープン化から踏み込んで積極的に地域に出ることを願う。

続いて、加藤副会長の「まとめ」と挨拶があり二日間にわたる施設長・事務長会議の幕を閉じた。なお、第一日目の午後六時から懇親会が催され、今回の担当施設として梶浦理事長、担当地区として大阪市民生局門脇福祉部長、主催者として全肢協坂口会長の挨拶があり、そのあと全肢協から七戸幸夫氏(前全肢協副会長)に感謝状がおくられ、堀川副会長の発声で乾杯のあと懇談に入った。

事務部長 丸山浩一



主催者として挨拶する全肢協坂口会長

特別講演

人間とは、生きるとは――

講師 辻 光文氏

立つのである。私は東北秋田の山深い寺で育つた者である。その私に今に尚忘れ難い一つの思い出がある。それは小学校六年生の時であった。親友Y君の父の死に、私は人一倍悲しい思いを抱いて登校した。ところがその日教室での同級生たちの語らひは次のようなものであった。



講演中の辻光文先生

「お前の所は今日も亦儲かるナ、おれらは百姓で働いて食って生きてるけど、お前の所は人が死ぬとその儲けで食って生きてるからナ。」というのである。わめきたい程憤激したが、当時ただ不幸な屋の下に生まれてしまったという、いつまでも悲しい思いばかりで、六年生の私にはこの問題の解決が

出来なかった。一人人間は何歳位でこの世の真実に目覚めるのであろうか。単なる勉強によって分かる問題ではない、というのが私の感慨である。

いのちへの目覚め

小学校三年生の時、両親の離婚で悲しく寂しく孤独だった遠藤周作少年を慰め彼と心を交わしてくれたのは飼犬のクロであったという。

戦前、新潟の農家の子どもであった大関松三郎に六年生の時書いた「虫けら」と題する詩がある。土を掘り返して出てくるみみず、くそ虫など虫けらの名を連ね「お前は虫けらと言われ、おれは人間といわれ、おれは鉄をもつて土をたがやさねばならん、おれはおまえたちのうちをこわさねばならん」と平等な尊い、いのちの前にたじろぐ姿がしたためられている。自分が生きていく為に罪もない虫けらを蹴殺さねばならぬ、生きていくことの悲しみを詠ったものである。自らのいのちとは他のいのちの犠牲なしに生きられぬ、いのちの矛盾への気づきがみえる。私の場合、母がた「あんたは仏様にあげられたもので生かして頂いているのだから、無駄なことをしてはいけない」とだけ教えてくれた。

臨床実習生・研修生の受入状況

<H4・1~12>

<訓練部>

- ▼大阪府立盲学校理学療法科1名 (H4・5・8~H5・2・26の毎週金曜日)
- ▼藍野医療技術専門学校理学療法学科1名
- ▼専門学校愛知医療学院理学療法学科1名
- ▼行岡医学技術専門学校リハビリテーション科1名
- ▼清恵会第二医療専門学校理学療法士科1名 (H4・6・1~7・22)
- ▼沖縄県立八重山養護学校教諭1名 (H4・7・28~7・30)
- ▼三重県立草の実学園作業療法士1名 (H4・7・29~7・31)
- ▼国立仙台病院附属リハビリテーション学院理学療法学科1名
- ▼行岡医学技術専門学校リハビリテーション科2名
- ▼神戸大学医療技術短期大学部理学療法科1名
- ▼京都大学医療技術短期大学部理学療法科1名 (H4・8・31~10・21)
- ▼国立仙台病院附属リハビリテーション学院理学療法学科1名 (H4・9・7~10・24)
- ▼京都大学医療技術短期大学部理学療法科1名 (H4・10・26~12・16)
- ▼山県県立総合療育訓練センター理学療法士1名 (H4・12・7~12・18)

▼つくし園言語療法士1名 (H4・12・14~12・15)

<看護部>

- ▼大阪府立看護短期大学看護系教員1名 (H4・5・11~5・15)
- ▼大阪府立看護短期大学第一看護科・第二看護科延57名 (H4・5・18~6・6) (H4・6・8~6・27) (H4・6・29~7・18) (H4・9・28~11・6) (H4・11・9~11・28) (H4・11・30~12・19)

<通園部>

- ▼浪速短期大学保育科5名 (H4・7・21~7・31)
- ▼大阪教育福祉専門学校二名 (H4・11・2~11・14)

<診療部>

- ▼大阪歯科学院専門学校延6名 (H4・3・3~3・28) (H4・7・27~8・21)
  - ▼大阪産業大学附属歯科衛生士学院専門学校延6名 (H4・4・30~5・29) (H4・6・15~7・11)
  - ▼行岡医学技術専門学校歯科衛生士科延10名 (H4・9・1~9・30) (H4・10・1~10・30) (H4・11・2~12・18)
- <あさしお園>
- ▼南海福祉専門学校 (H4・12・8~12・18)

中学校教師をふり出しに

十五歳の夏、日本は敗戦となり私は仏教の専門学校に学ぶのであるが、釈迦の原始仏教は葬式法事との縁のないことを知って悩みは又つた。幸いに卒業しても僧侶とはならず中学校教師となった。

・ 眞実の生を求めて

生きるとは何、生きる喜びとは―― 仏典は人身の得難い喜びを説くが私にそんなものはもうどこにもなかった。東京での三年間はただ悲しさとさびしさと苦しさだけであった。

生き甲斐を求めた一灯園にも私は徹し切れず、再度花園大学の仏教学科に学んだ。職業は特に選ぶこともなかった。縁を得て結婚、大阪港に近い児童養護施設海の子の家へ夫婦住込みで就労した。これが福祉にかかわる人生となった。その施設での四年目にもう齢も世一を越えていたが盗みをする一人の子どもの出会いからはじめて直接教護院の存在を知った。私は退職、武蔵野学院教護職員養成所の選科生を経て阿武山学園の教護となった。そこは小舎夫婦制という特異な就労形態をとる施設で夫を教護、妻を教母という。小舎で夫婦が子どもたち十二名から多い時は廿名近く、四六時中、三百六十五日寝食を共にする生活であった。

・ 阿武山学園と石原情性理論

教護院とは法的に「不良行為をなし又なす虞のある児童を入院させて、これを教護することを目的とする」(児童福祉法四四条)施設である。「不良」の言葉は児童福祉法に残る悲しいレッテルである。

阿武山学園では廿四年間「勤務した」というより、夫婦の私生活の場が即公的仕事の場として分離できぬものであり「一緒に暮した」という方がふさわしい。児童の指導に関しては武蔵野で縁を得た石原先生の「情性理論」を抜きにして語ることはできない。

石原先生の非行の図式は独自なもので「不安定感×対象物×機会―統制力≠非行」というのである。不安定感とは、怒りとか恐怖とか劣等感とは又諸種の欲望を土台とすすべての人が大なり小なり持つ心情である。対象とは盗む金であったり性的非行の相手など多様な機会がそれが実行できる。例えば、誰もみていないとか助長する仲間のこともである。つまり非行はこの三つが揃えば成立し又このうち一つでも無くなれば消える。然し日常の社会生活で特に「対象」と「機会」をなくすことは不可能といえる。とすれば当然、次の統制がどう作用するか、勿論統制力とは自己統制力のことである。この統制力の中味は何か、石原先生は全国的な非行少年群と一般少年との比較調査の末、それが人間の情緒であることをつきとめる。この情緒は後に言葉を変えて情性(広い意味での人間性)という表現をされるのであるが、非行防止にはこの情性を育てる以外にない、と説くのである。この情性が乏しい状況の中では、「A人の気持ち

がわからず——わがままB未来が考えられず——心配能力欠如C現在が味わえず——感覚的D空論の口実——知能の問題でなく情緒的キャッチの不足」となるという。正にその通りである。従って教護という仕事は、知能や行動の訓練を第一義とするのではなくこの情性を豊かにすることにあるという。非行に関する諸説は多いがこの理論は私共が生活を共にして実感するものでこれ以外に出るものはない。然らば情性は如何にして育ち、何によってその成長の判定をするか。少なくとも衣食住を共にした集団生活を通し、その中に生じてくる喜怒哀楽の笑みに表現されるのだ、というほかにない。

・さびしい孤独な子ども達  
反社会的行為に聞くだけで恐ろしいことをやったというふれこみの子どもでも一緒に風呂へ入り三度の食事を共にして学び暮している中では、子ども達の秘めている深い心の奥底が聞こえてくる。心理学者は「船を降ろす港のない子ども」等と言っているが、それは文字通り荒涼とした砂漠の中を独り歩くようなさびしい孤独な子ども達ばかりであった。何百人接しても決してこれ以外の何ものでもない、というのが私の実感である。

幼い日から果しなく繰り返される両親の喧嘩の中で暴力暴言、嘘、騙しを心の奥に止め、長じて学習意欲も失い学力低下、表現手段の文字さえ覚えずに来た子が一度心を鎮め文字を覚えて語るその一言一句には胸を打つものが多い。そのことを知る時、私共がしみじみ思うことは、よくぞこんな中で生きてきたナーという愛しい思いであった。

・白鳥は哀しからずや  
登校拒否とか、不登校の子ども達も日本の社会の中でいつ頃から問題とされて来たのか。恐らく高度経済成長政策の昭和も世年代の半ばであろう。大阪市中央児童相談所の措置によって私共がこの子等と多く出会うようになったのは昭和四十年代の半ばからであった。もともと反社会的児童の指導を専門とする施設で私共にとっては初めて体験であった。それが同じ小舎で共に生活したのである。その実践記録の一つとして偶々「とまどい——登校拒否を克服した少女の日記——」(ミネルワ書房刊)として残されることになったが学校教育という一つの流れからこぼれた子ども達の心の奥底に共通してあったものは人間の孤独であった。学びはいつの場合でも決して一方的なものではない。反社会的、非社会的、指導、被指導の立場を問わず、この共存の生活の中で私共は人間に関する多くのことを実学した。か弱い登校拒否の女の子が番長クラスの女の子の頬をなぐり泣いて無断外出を止めたり、喫煙グループの中に居て、つゆ同化せずに生きた生活実践は若山牧水の「白鳥は哀しからずや空の青海の青にも染まず漂う」という歌にもなぞらえるべき愛情の何たるか、心の純真さを深く教えられるもので忘れられない。同じ和することのない最近の子ども達の風潮に「和して同せず」という真実を思うや切である。

・理解し合うということ  
人が人を本当に理解する、ということとは如何に大変なことであるか。もともと難度な子ども達の指導を本職とする者の仕事の中で更に難度な子どもとの相遇にはすぐ「この子さえ居なかつたら、わたしの集団はうまくいくものを」とそこから排除したい自分自身のエ

ゴが見えかくれするのである。「邪魔者は消せ」というヤクザの心がひそむ。執物に院内非行を繰り返して止まらなかったS子、際限なく反抗を続けたN子もそのことを私共に教えてくれた。私共と共に生活し、やがて卒業、退院別離の日の近づく頃私共は、いつも「私の越えて来た道」と題してカタルシスの意味も含めて、その幼児期からの生いたちを記録して貰った。何年も共に暮し、別かれてからそれを読み、初めてしみじみと子ども達の心を知ること多かつた。更に施設を出て十数年を経て、その子が人の子の親となって語り明かしてはじめて知る心の世界もある。常に出会う子どもと対峙する、その時、その場で自分自身の内側を深く見つめることなしに、理解し合うなどということとはあり得ない。況んや心と心のふれ合う場が今日のように便利に豊かにバラバラになった生活の中では何か心の乏しくなる一面を感ずるのは何故だろうか。

・障害の問題を考える  
人間にとって障害の問題とは何か。私共夫婦が交通事故に出会い意識不明、入院、又数年に渡る松葉杖の生活を余技なくされた体験にもよるが、曾在職中学生ボランティアに同伴されてやって来た柏木正行さんというCPによる重度の障害者の出合いに学んだことは量り知れない。彼には「むくの木の詩」という詩集があり、曾て療養施設での生活詩、三十歳の日に母へ捧げた「分身」と題した一文がある。生きるということ、自立することであり、「自分のいのちを自分が生きること」を見事に詠っている。自立とは自分の生活費を自分で稼ぐ、などというケチなことではない。この柏木さん

の生き方に比して非行少女のK子の叫びは人間の悲しみの極みと言える。自分のいのちを自分で生きられず「自分を生みやがって、お前が生んだおかげで云々」と訴えるのである。この人生に自らのいのちを自ら肯定できないこと以上の悲しみがあろうか。又、言葉さえ発することが出来ず乳幼児より寝たきりで、何もかも人手を煩わすことでしか存在するを得ない、という最重度の人生があるとするれば、それは無意味なのであろうか。四十一歳で腎癌によってこの世を去った平野恵子さんが重度の心身障害児の長女由紀乃ちゃんへ遺して逝った一文は、人間とは何、生きるとは何か、を深く教えてやまぬものである。(子どもたちよありがとう 平野恵子著 法蔵館刊)

・いのちとはつながり  
国際キリスト教大学の生物物理学専攻という純粋科学の石川光男先生は「いのちとはつながりである」と平易に言い切っている。正しく東洋の空といふ無という世界である。

自分は、今、ここに、こうして生きついでいるがそれは決して他と関係なく、コロット単独に存在しているのではない。このわたたくしは一応他の区別は出来ても、切り離しては一瞬としても存在し得ないのちである。本当の自分は思うと思わざるにかかわりなく果しない宇宙と重々無尽につながった不思議としか言いようのない澄み切ったいのちなのだ。殺人を犯し処刑という悲しい生涯を了えた島秋人はこの「澄める心」を証してくれた。どんな人にも汚れた自己中心、自分勝手な自分のそのもう一つ奥に、もう一人の、本来の真実の自己が厳然として存在する

ことを忘れてはならぬ。人生とは、その真実の自己と出会う旅なのである。

・おわりに  
恩師の柴山全慶老師に「花語らず」という一詩調がある。「花は黙って咲き、黙って散っていく」と言う。花とはいのちのことである。はかない限られた今、ここを生きる生命の中に永遠のいのちの真実がある。人生はこれしかない。そしてそれは又すべての人の福祉ということの原点でもある。

(元大阪市立阿武山学園副園長、花園大学・大谷女子大学非常勤講師)  
(注)・「生命思考—ニューサイエンスと東洋思想の融合—」石川光男著 TBSブリクニカ刊 一九八六  
・「遺愛集」島秋人著 東京美術 一九六九  
・「むくの木の詩」柏木正行著 批評社刊一九八一



## 閑話 Q 題

直感力にチャレンジ! ある・ないクイズ

Q1 歌好きならわかるかな?

- ヤギならできますが
- ヒツジにはできません。
- カツオにはありますが
- マグロにはありません。
- 竹にはみられますが
- 松にはありません。
- 演歌にはあっても
- ポップスにはありません。

さて、これは何でしょう。

Q2 書いてみて!

- 赤坂ならできますが
- 青山ではできません。
- ウラルなら可能ですが
- ヒマラヤでは不可能です。
- 伊勢市ならOKですが
- 奈良市ではダメです。

さて、これは何でしょう。

A. 答えは10ページにあります。





「あさしお園」  
▼ハンド・クラフト賞を受ける

最優秀賞(内閣総理大臣賞)にあ  
さしお園OBの密本真己さんの  
「げんじろうの七夕集会」が選ば  
れました。

園内行事

雨の為、残念ながら中止となりま  
した。  
▼生活発表会 十二月十二日  
(土)  
グループ毎に毎日出し物の練習を  
積み、どのグループも見事な成果  
で、お父さん、お母さんに楽しく  
観て頂きました。

▼2月11日 父親参観(年  
長)  
▼3月20日 卒園式  
▼4月1日 説明会  
▼4月2日 入園式  
▼5月8日 遠足(阪神パーク)  
▼7月7日 プール(スポ・セ  
ン)

▼12月6日 生活発表会  
▼12月23日 父親保育参観(年  
少)  
▼12月24日 クリスマス会

幼稚園

▼12月24日 クリスマス会

▼「国連・障害者  
の十年」最終年に  
合わせ、総理府が  
全国募集した「心  
の輪を広げる体験  
作文」の一般の部



「おえかきボード」の保育活動



運動会の1コマ

▼春の遠足 五月二十三日(土)  
行先 長居公園・自然史博物館  
バラ園のバラがとても美しく咲  
き乱れていました。

大きな行事は以上の通りですが  
他に、毎月第三木曜日には各病棟  
毎にお誕生会を行っています。今  
年は大きな行事が二つも中止と  
なってしまう、子供達も、職員も  
がっかりしました。平成五年は天  
候も、子供達の健康状態も良好で  
あることを願っております。

運動部

▼長居プール 七月二十五日  
(土)  
一般市営プールで家族と共に楽し  
む行事ですが、病棟内での子供達  
の風邪の流行、冷夏でもあり、子  
供達の健康状態を考慮して残念で  
したが中止しました。

▼夏祭り 八月七日(金)  
各グループ共はり切ってカラオケ  
大会に臨みました。保護者会の出  
店でお腹を一杯にし、楽しく夕方  
の一時を過ごし、夏休みを迎えまし  
た。

大阪市より  
表彰状受賞

給食部門

毎年、大阪市は衛生状態が優秀  
な施設に優秀賞を授与しています。  
当園も、毎年食品衛生部門で優  
秀標を受賞しています。当園は昭  
和五十七年度には十年連続の優秀  
標受賞ということで大阪市から特  
別表彰を受けていますが、再度十  
年連続優秀標受賞で平成四年度写  
真の表彰状を大阪市から授与され  
ました。

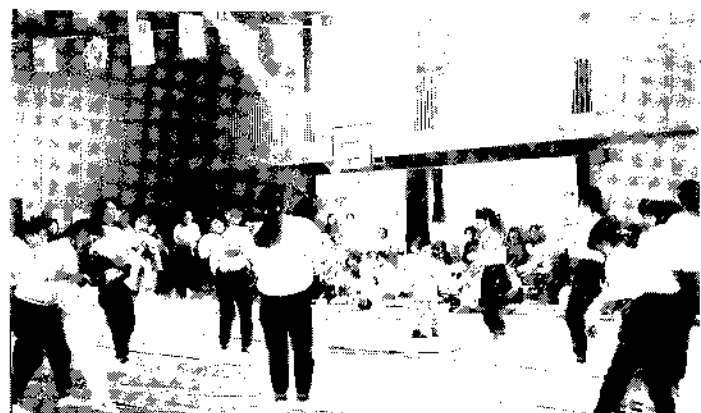
賞状

南大阪教育団給食部  
元給食優良施設研究会  
会長 大下洋治殿  
あなたの施設は常に衛生状態が  
優秀で十年間、毎年優秀標  
を受賞されたこと、この間、  
うれしく思います。

平成五年二月十五日  
大阪市長 西尾正也

今後も給食部一同、この賞を励  
みに調理室等の衛生状態に充分、  
意を注いでいきたいと思いたすの  
で職員一同の一層のご協力をお願  
いたします。

▼運動会 十月三日(土)  
毎日の訓練・日常生活のがんばり  
の成果を発揮して、競技を盛り上  
げました。  
▼秋の遠足 十月二十四日(土)  
天王寺動物園へ行く予定でしたが



運動会の1コマ

▼1月18日 もちつき大会  
▼3月19日 卒園式・お別れ会  
▼4月2日 入園式  
▼5月12日 春の遠足(王子動  
物園)  
▼8月1日 夏まつり  
▼9月6日 一日療育体験  
▼10月18日 運動会(田中小学  
校)  
▼10月26日 秋の遠足(南楽  
園)

発表会の1コマ

▼1月12日 たこあげ大会  
▼1月18日 もちつき大会  
▼2月21日 雪あそび  
▼3月16日 卒園式・お別れ会  
▼4月3日 入園式  
▼5月15日 春の遠足  
▼5月31日 親子の集い(ゲー  
ム大会)  
▼6月6日 幼稚園、保育所との  
交流会  
▼6月25日 大阪港めぐり  
▼8月29日 30日 合宿  
▼9月13日 日曜参観(1才、  
5才)  
▼10月17日 運動会  
▼10月25日 日曜参観(2才、  
3才、4才)  
▼10月29日 秋の遠足  
▼11月29日 生活発表会  
▼12月22日 クリスマス会



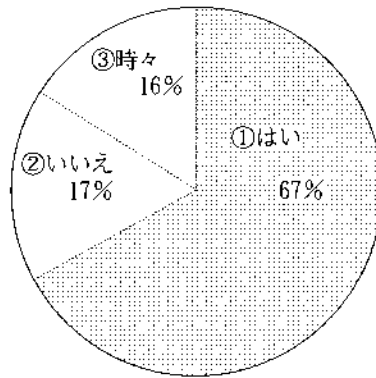
運動会の1コマ



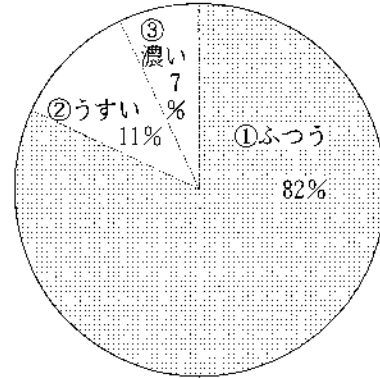
平成五年二月、給食に関するアンケートを職員を対象に実施いたしました。日頃、職員のみなさんが感じておられることが聞くことができました。みなさんのご協力を得、回収枚数二七枚(回収率七〇・六%)になりました。今後の給食に大いに役立てていきたいと思っております。以下結果をご報告いたします。「事務部」

『給食』に関するアンケート結果

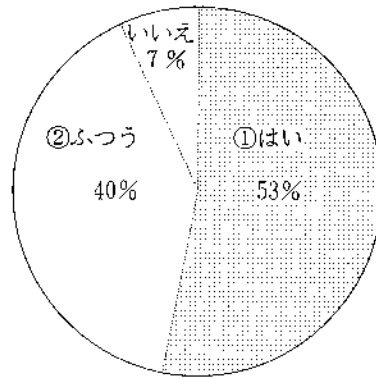
①給食を利用していますか。



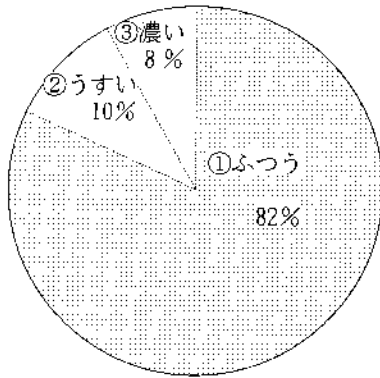
④みそ汁などの汁物の味はどうですか。



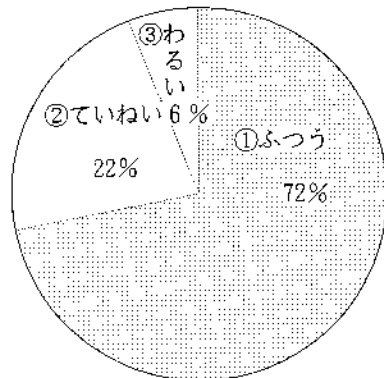
②給食はおいしいですか。



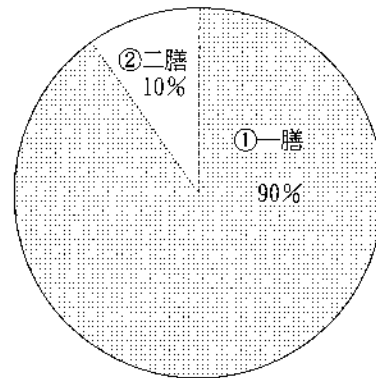
③おかずの味はどうですか。



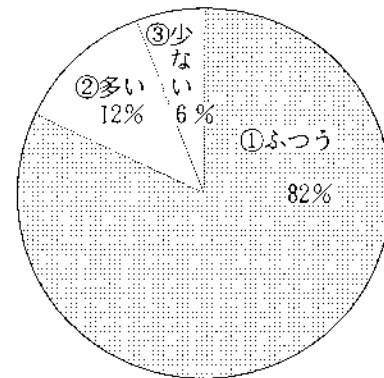
⑤盛りつけはどうですか。



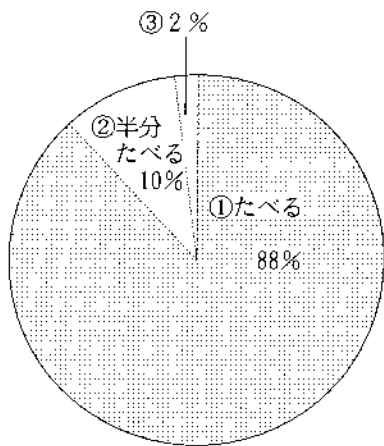
⑦ごはんの量はどの位ですか。



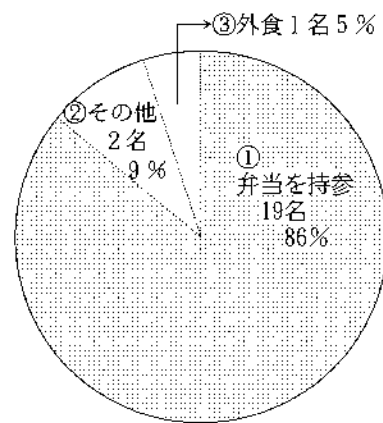
⑥おかずの量はどの位ですか。



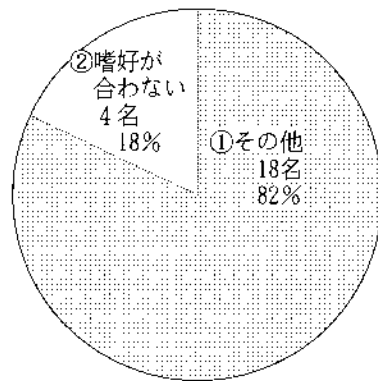
⑧生野菜がでたらどうしていますか。



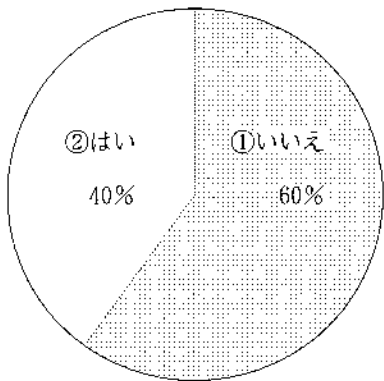
⑨昼食はどうしていますか。(給食を利用していない22名にお聞きしました)



⑩給食を食べないのは(給食を利用していない22名にお聞きしました)



⑪食べ物の好き嫌いがありますか。



⑭今までの献立で好きなものを2つあげて下さい。

- ① コロッケ ② おでん ③ 麺類 ④ ばらぐし
- ⑤ 焼き肉 ⑥ すき焼き ⑦ カレーライス

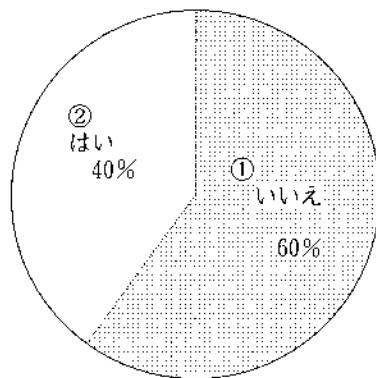
⑮今までの献立で嫌いなものを2つあげて下さい。

- ① 魚 ② ポターージュ(シチュー) ③ピカタ ④ 野菜サラダ
- ⑤ ナムル ⑥ 松風焼 ⑦ ムニエル・親子煮

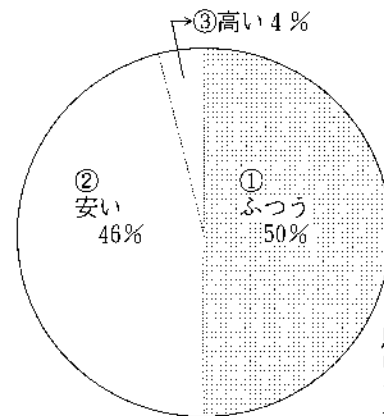
そのほかいろいろな意見がありました。紙面の都合で割愛します。

<ありがとうございました。>

⑬値段が少し上りても質をよくか。



⑫今の昼食代についてどう思いますか。



### 当園で開催した 講習会

▼ボバース・コース

平成4年1月13日～3月13日  
講師 今川忠男・西脇美佐子・  
関東佐智子・彦田龍兵・茂原直  
子

▼脳性麻痺及び運動発達遅れの  
遅れに  
対するボバース法講習会  
平成4年2月9日・2月16日  
講師 梶浦一郎・大下舜治・  
佐々木哲・今川忠男・西脇美佐  
子

▼日本理学療法士協会長期講習会  
(脳性麻痺児の評価と理学療法  
の実際)  
平成4年7月20日～7月25日  
講師 今川忠男・西脇美佐子

ピーチの評価と治療の実際  
平成4年6月22日～7月3日  
講師 今川忠男

▼脳性麻痺児療育多職種講習会  
平成4年7月17日～7月18日  
7月25日～7月26日・  
8月22日～8月23日  
講師 今川忠男・彦田龍兵・茂  
原直子

▼発達障害児に対するプレ・ス  
平成4年7月20日～7月25日  
講師 今川忠男・西脇美佐子

## 今回は中国・北京料理!

### 職員慰安会

平成四年度の職員慰安会は11  
月14日と21日の二班に分けて、  
中央区心斎橋の「東天閣」にて行  
われました。

14日は64名の参  
加で梶浦理事長の  
あいさつ、東さん  
の乾杯、21日は澤  
常務のあいさつ、  
西條園長の乾杯に  
よりそれぞれ開宴  
しました。

慰安会での中華  
は初めてで、何が  
出て来るのか期待  
していました。が、  
その期待を裏切ら  
ず、次々とコース  
料理が円卓に並び、  
楽しい時間を過ご  
すことができました。  
「来年は何を  
ごちそうしてくれ



### 施設の整備状況

平成四年一月から十二月までの  
一年間に行った施設の整備は次の  
通りです。

▼平成4年3月 蒸気用減圧弁取  
替工事

▼平成4年5月 乾燥機一式購入

▼平成4年6月 食堂屋根補修工  
事

▼平成4年7月 給湯管配管取替  
工事

▼平成4年10月 乾燥機修理

▼平成4年12月 温冷湿布器購  
入

▼カルテ整理ロッカー購入  
あさしお園

▼平成4年5月 軽量金具組立棚  
工事

### ソフトボール大会

― 残念ながら2位 ―

平成四年九月十九日(土) 午後  
に行われた第十六回大会は、乱打  
戦の末、大手前整肢学園が第八回  
大会以来三回目の優勝を飾った。  
今回は打倒大阪整肢を目標に望  
んだものの、大手前に足元をすく  
われ、二位に甘んじてしまった。

- 南大阪 18-9 大阪整
- 大手前 24-12 大阪整
- 大手前 14-2 南大阪

### 佐々木診療部長が開業



昭和五十七年七月より当  
園で勤務されていた佐々  
木哲先生が、平成四年三  
月に退職され、左記の所  
にて五月より開業されま  
した。ここに十年間の労  
をねぎらうと共に今後の  
ご活躍をお祈り致します。

〒579 東大阪市四条町一番十四号  
フォーチュンコート2F

佐々木整形外科

☎〇七二九一八六一八二八八  
近鉄奈良線瓢箪山駅南へ三百m

### 自衛消防訓練実施

平成四年度の自衛消防訓練が次の  
通り実施されました。

◆第一回 平成四年四月二十七日  
(月) 午後三時

◆訓練内容  
夜間を想定した非難訓練(二階  
病棟)・通報訓練(二階病棟)

・放水訓練(各部署より計八  
名)

◆第二回 平成四年十月二十六  
日(月) 午後二時

◆訓練内容  
非難訓練(北病棟)・通報訓練  
(北病棟)・消火訓練(各部署  
より計七名)

◆第一回 平成四年四月二十三日  
(木) 午前十時

◆第二回 平成四年十月二十六日  
(月) 午前十時

それぞれの訓練には、管轄の東  
住吉消防署、港消防署の係官が指  
導のため来園、訓練終了後、適切  
な助言を受け意義のある訓練を計  
画どおり終了した。

### 平成5年度の休日が決まりました。

#### 1. 春の休日

平成5年4月29日(木)と5月1日(土)～5月5日(水)  
従って4/30(金)は平常勤務となります。

#### 2. 夏の休日

平成5年8月8日(日)～8月15日(日)

#### 3. 年末年始の休日

平成5年12月26日(日)～平成6年1月3日(月)  
但し、①12/27(月)の半日を一斉週休とし残りの半日を  
12/25(土)の午後に振替え、12/25を1日勤務とする。  
②12/28(火)は12/23(木)天皇誕生日を振替える。

#### 4. その他の休日

<振替出勤日>	<振替休日>
9月15日(敬老の日・水)	→ 9月13日(月)
9月23日(秋分の日・木)	→ 9月20日(月)
11月3日(文化の日・水)	→ 11月1日(月)
11月23日(勤労感謝の日・火)	→ 11月22日(月)
2月11日(建国記念の日・金)	→ 2月7日(月)

但し、上記以外の祝日は暦どおりとする。

あさしお園・ゆうなぎ園は上記1. 2. 3を本園と同じとし、そ  
れ以外の祝日は暦どおりとする。

閑話Q題 ①答「節」に關係あるもの(演歌のポイントは小節)  
解答 ②答「ローマ字で書くと回文になる」(赤坂→AKASAKA)